

## 広島県の道德教育の一層の充実に向けて

( 道德の教科化に向けて、期待される道德授業 )

関西外国語大学 小寺 正一

### I 道德の「教科化」

#### 1 「道德の時間」 ⇒ 「特別の教科 道德」

(1) 教科化のねらい

(2) なぜ「特別の教科 道德」なのか

(3) 教科の3要素は

① 教科書

② 評価 記述で

③ 指導者 学級担任

<教科>

・ 教科書 ・ 数値評価 ・ 免許

#### 2 「特別の教科・道德」は

(1) 学校の教育活動全体で進める道德教育の「要」

(2) 目 標

よりよく生きるための基盤となる道德性を養うため、道德的価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、自己の生き方(人間としての生き方)についての考えを深める学習を通して、道德的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

<小学校> \* ( )内は中学校

⇒ 連続性 関連性を持たせて数時間構成にする(ことも)

道德的価値の関連 理解と実践との連続 など

(3) 全校的な推進体制・協力体制を確立して

道德授業でも協力体制を

授業の実施、資料研究、児童生徒の実態把握などで

(4) 教科・領域における道德教育の充実

(5) 家庭・地域社会と連携して

### 3 内容・指導方法の改善

(1) 内容

① 規範意識 と 主体性

② 強い意志 (ものごとに立ち向かう強さ)

③ 情報モラルに関連する内容

④ 生命尊重に関連する内容

など

(2) 指導方法 (例)

① (1 主題・1 時間で) 複数の内容項目を扱う指導

② 複数時間扱いの指導

③ 他教科・領域の学習内容と関連づけた (連続させた) 指導

## II 『私たちの道德』の活用 (道德授業で)

### 1 学校の教育活動全体を通じて活用

- ・ 道德授業でも積極的な活用を

### 2 道德的価値について自ら考え、実際に行動できるように

例 小5・6年 「自分を見つめ豊かに生きる」

### 3 読み物教材（資料）の活用

|       |      |      |                        |    |
|-------|------|------|------------------------|----|
| 読み物資料 | 1・2年 | 12作品 | 「はしの 上の おおかみ」          |    |
|       | 3・4年 | 12作品 | 「雨のバス停留所で」「ブラッドレーせい求書」 |    |
|       | 5・6年 | 13作品 | 「最後のおくりもの」「うばわれた自由」    |    |
| 中学校   |      | 9作品  | 「二通の手紙」「二人の弟子」         | など |

### 4 充実した内容の活用

いじめ（生命）問題への対応 や 伝統・文化、情報モラルに関する内容の充実

いじめ問題 : 善悪の判断、信頼・友情、規範意識、公正・公平、自他の生命の尊重

1・2年 「してはならないことがあるよ」

3・4年 「ヒキガエルとロバ」

5・6年 「愛の日記」

中学校 「あなたの身近にいじめはありますか」

伝統・文化 : 伝統の継承、文化の創造

例 1・2年 「ぎおんまつり」

3・4年 「伝統文化を大切に」お雑煮

5・6年 「語りつぎ受けつぐ日本らしさ」

「伝統の中にある『創造』の力」

中学校 「海外で親しまれる日本の文化」

情報モラル : 社会の急激な情報化への対応

例 3・4年 「コンピュータや携帯電話などを

どのように使えばよいのでしょうか」

5・6年 「情報社会に生きる私たち」

中学校 「考えよう 情報社会の光と影」

### 5 学年ごとに特徴をもたせた編集

1・2年 家庭との連携を意識して、家族からの書き込み欄を

3・4年 身近な人間関係に関する内容の充実（あたたかい人間関係を）

5・6年 話し合いの題材を充実（話し合いで考えを深め、自己の成長に気づくように）

中学校 偉人の伝記や著名人のメッセージを充実（生き方を考えられるように）

\* 内容や発達段階をふまえた重点化に配慮した活用を

\* 導入・終末で（読み物資料以外の頁の）積極的な活用を

# 道徳

わたしたちの



小学校三・四年

# 道徳

わたしたちの



小学校一・二年

私たちの

# 道徳



中学校

# 道徳

私たちの



小学校五・六年